

事業所名 明石ゆいゆい

支援プログラム

作成日 R7年2月28日

法人理念	利用者の生命や尊厳、人権及び人生を大切にする。願いや要求に真摯に向き合い、理解し共感する。 自立・自己実現・自己決定の過程を支援する。		
支援方針	障害特性を見極め一人ひとりの個性や主体性を尊重した療育活動を行う。 心身の成長と共に意思の表出を受容し自己決定へと導く支援を行う。		
営業時間	9時30分から17時00分	送迎実施の有無	あり
支援内容			
本人支援	健康・生活	健康状態の申し送りを受け、バイタルサインの確認をし医療的ケア児には医療機器の取り扱いを遵守し家族が行っている通りのケアを行う。心身の小さなサインを見逃さないよう留意し、安全で心地よい生活空間を提供する。	
	運動・感覚	障害特性や発達段階に配慮し、姿勢の保持や動作の向上に努める。感覚に働きかける遊びを通して様々な経験を積み、身体と心の成長、発達を促していく。個々の安楽な姿勢で活動に参加できるようポジショニングに留意する。	
	認知・行動	壁面や製作、散歩などをの活動を通して四季の変化への感性を形成し、始まりの会で実物や絵カードの提示、音楽などで見通しを持って活動に参加できるように配慮する。	
	言語・コミュニケーション	物事を行う前に声掛けをし、自身の気持ちを表情や動作、発声などで意思表示ができるよう、支援を行う。また、その気持ちを受け止め共感し予想して代弁することで気持ちの成長を促す。	
	人間関係・社会性	個別・集団遊びを通して他の利用児や支援者と関わり、役割分担しながら他者との信頼関係を育む。 学校や家庭、放課後デイでの環境が安心でき自身の意思表示ができるように支援する。	
家族支援	保護者の時間の確保、兄弟児への支援、家族との情報共有、 困りごと、悩み等の相談援助	移行支援	ライフステージに応じた関係機関との連携
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 近隣への散歩等で地域との交流を図る 学校や他事業所、相談支援事業所とのサービス担当者会議にて情報共有を行う 	職員の質の向上	社内外の研修、eラーニングの導入、始業前の会議
主な行事	季節の活動プログラムを実施。お花見、ふれあいコンサート、プール、遠足、外出、運動会、秋祭り、クリスマス会、誕生日会、クッキング、おもちつきなど		